



会見に臨む山本議長＝県議
会議事堂で

県と市町の合意歓迎

がれき受け入れで県議会議長

東日本大震災で発生した
がれきの広域処理につい
て、県議会の山本教和議長
は七日の定例記者会見で、
「県と市町が横一線であの
ような協定を結ばれた。尊
重しないといけない」と述
べ、県と市長会、町村会が
先月二十日に受け入れに向

けて合意したのを歓迎し
た。 【8面に関連】

鈴木英敬知事と市長会会
長の亀井利克名張市長、町
村会会長の谷口友見大紀町
長が先月二十七日、受け入
れに向けて宮城、岩手両県
を視察したことについては
「しっかりと対応されてい

ると（知事から）聞いてい
る。あれならば、という感
じを持ったのでは」と語っ
た。

十日の県議会全員協議会
で執行部から説明があると
し、「議会でけんけんがく
がくの議論があるうかと思
う」としながらも、三者合
意を尊重すべきだとした。
その一方で、「これから
（焼却や処分の）施設があ
る市町の首長や議会など、
携わる人は大変だと思っ
とも話した。

また、中村進一副議長は
「いろんな県民の思いがあ
る」と述べ、訪問者には反
対の人もいると説明。選挙
区の伊勢市の鈴木健一市長
が広域処理に疑義を唱えて
いる点では、「課題につい
て話し合いたいと思ってい
る」と語った。